

## フェンピロキシメート(案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく基準値の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

## 1. 概要

(1) 品目名：フェンピロキシメート [ Fenpyroximate (ISO) ]

(2) 用途：殺ダニ剤

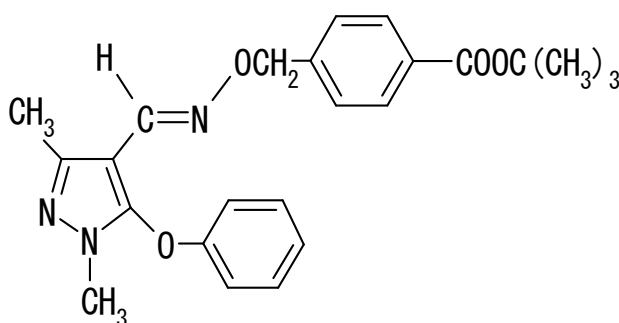
フェノキシピラゾール系の殺ダニ剤である。ミトコンドリア電子伝達系複合体 I の阻害により殺ダニ作用を示すと考えられている。

(3) 化学名及び CAS 番号

*tert*-Butyl (E)-4-[[[(1,3-dimethyl-5-phenoxy-1H-pyrazol-4-yl)methylene]amino]oxy)methyl]benzoate (IUPAC)

Benzoic acid, 4-[[[[[(1,3-dimethyl-5-phenoxy-1H-pyrazol-4-yl)methylene]amino]oxy)methyl]-, 1,1-dimethylethyl ester (CAS : No. 111812-58-9)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{24}H_{27}N_3O_4$
分子量	421.49
水溶解度	$1.5 \times 10^{-5}$ g/L (20°C, pH 7.5)
分配係数	$\log_{10}P_{ow} = 5.01$ (25°C)

## 2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法是以下のとおり。

**作物名**、**使用時期**、**使用回数**となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、かぼちゃについてインポートトレランス申請がなされている。

### (1) 国内での使用方法

#### ① 5.0%フェンピロキシメートフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数	
りんご	リンゴハダニ ナミハダニ	1000～2000倍	200～700 L/10 a	収穫30日前まで	1回	散布	1回	
	リンゴサビダニ	2000倍						
かんきつ	ミカンハダニ	1000～2000倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内	
	ミカンサビダニ	2000倍						
なし	ハダニ類 ニセサビダニ	1000～2000倍		収穫7日前まで	1回		1回	
もも	ハダニ類							
ネクタリン				2000倍	2回以内			
うめ	1000～2000倍							
ぶどう	ブドウサビダニ	2000倍		収穫30日前まで	1回		1回	
アセロラ	ハダニ類	1000倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内	
おうとう すもも				収穫7日前まで				
かき				1000～2000倍	収穫3日前まで		1回	1回
びわ				ビワサビダニ 1000倍				
いちじく	ハダニ類	1000～2000倍		収穫前日まで	1回		1回	
	イチジクモンサビダニ	2000倍						
キウイフルーツ	ハダニ類 チャノホコリダニ	1000～2000倍		収穫30日前まで	1回		1回	
チェリモヤ	カンザワハダニ	2000倍						
あずき だいず いんげんまめ えんどうまめ べにばないんげん	ハダニ類	1000～2000倍	収穫7日前まで					
豆類（未成熟、ただし、さやいんげんを除く）	チャノホコリダニ	1000倍	収穫前日まで	1回	1回			
さやいんげん	ハダニ類	1000～2000倍						

① 5.0%フェンピロキシメートフロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数				
にがうり	ハダニ類	2000倍	150~300 L/10 a	収穫3日前まで	1回	散布	1回				
いちご	チャノホリダニ	1000倍		収穫前日まで				3回以内	2回以内		
すいか メロン	ハダニ類	1000~2000倍					収穫開始14日前まで			3回以内	3回以内
きゅうり なす		2000倍									
ピーマン		1000~2000倍									
トマト ミニトマト		トマトサビダニ			1000倍						
	タバコナジラミ類 (シルバーリーフナジラミを含む)	1000~2000倍		収穫前日まで	1回		散布、ただし花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する	1回			
とうがらし類	ハダニ類	2000倍		収穫7日前まで							
モロヘイヤ				収穫21日前まで							
ほうれんそう				収穫28日前まで							
しそ			収穫前日まで								
はすいも (葉柄)			みょうが (花穂)	みょうが (花穂) の収穫前日まで ただし、花穂を収穫しない場合には開花期終了まで							
みょうが (茎葉)			収穫7日前まで								
食用さくら (葉)	ナシハダニ		100~300 L/10 a	100~300 L/10 a							
てんさい											

① 5.0%フェンピロキシメートフロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数
ホップ	ハダニ類	1000倍	200～700 L/10 a	収穫14日前まで	1回	散布	1回
茶	クワシカカラムシ		1000 L/10 a	摘採7日前まで	2回 以内		2回以内
	カンザワハダニ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ チャノホリダニ		400 L/10 a				

② 5.0%フェンピロキシメート・15.0%ピフルブミドフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数
茶	チャノホリダニ カンザワハダニ チャノカサビダニ	2000～ 3000倍	200～400 L/10 a	摘採7日前まで	1回	散布	2回以内
かんきつ	ミカンハダニ ミカンサビダニ		200～700 L/10 a				
なす	ハダニ類 チャノホリダニ	2000倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	1回	散布	3回以内
すいか メロン きゅうり ピーマン	ハダニ類						
いちご さやいんげん あずき							1回

③ 4.0%フェンピロキシメート・20.0%ブプロフェジンフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数
みかん	カイガラムシ類	1000倍	200～700 L/10 a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	ミカンサビダニ	1000～ 2000倍					
	チャノホリダニ	2000倍					
かんきつ (みかんを除く)	カイガラムシ類	1000倍	200～700 L/10 a	収穫45日前まで	1回	散布	1回
	ミカンサビダニ	1000～ 2000倍					
	チャノホリダニ	2000倍					
なし	カイガラムシ類 ニセナシサビダニ	1000倍		収穫30日前まで	1回	散布	1回
もも	カイガラムシ類			収穫14日前まで			

③ 4.0%フェンピロキシメート・20.0%ブプロフェジンフロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数				
ネクタリン	カイガラシ類	1000倍	200~700 L/10 a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内				
すもも				収穫14日前まで							
おうとう				収穫7日前まで							
ぶどう				収穫30日前まで	1回						
いちじく				収穫14日前まで							
キウイフルーツ	カイガラシ類 蚜化メコバイ	1000~ 2000倍	100~300 L/10 a	収穫前日まで	3回以内		3回以内				
トマト	コジラミ類										
	トマトサビダニ										
なす	コジラミ類										
	チャノホリダニ							1000倍	2回以内	2回以内	
とうがらし類	コジラミ類					1000~ 2000倍		3回以内	3回以内		
きゅうり						1000倍		1000~ 2000倍	2回以内	2回以内	
すいか メロン											
茶	カイガラシ類					1000倍		1000 L/10 a	摘採14日前まで	2回以内	2回以内
	チャノミドリヒメコバイ チャノホリガ チャノホリダニ チャノナガサビダニ チャトゲコジラミ							200~400 L/10 a			

(2) 海外での使用方法

① 5%フェンピロキシメートフロアブル (ブラジル)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法
トマト かぼちゃ ズッキーニ なす きゅうり ピーマン オクラ	ナミダニ	1000倍	1000 L/ha	収穫7日前まで	2回以内	散布

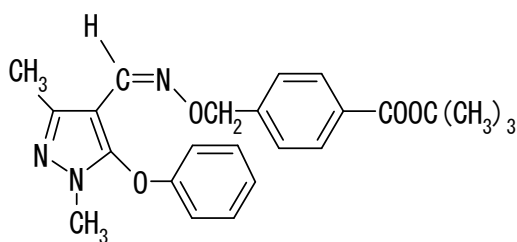
### 3. 作物残留試験

#### (1) 分析の概要

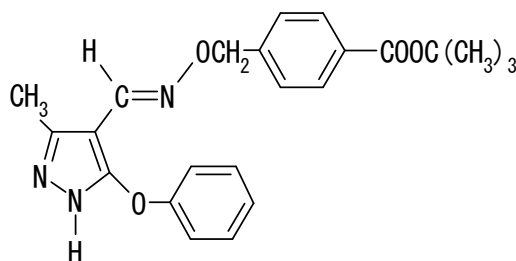
##### 【国内】

##### ① 分析対象物質

- フェンピロキシメート
- *tert*-ブチル=(*Z*)- $\alpha$ -(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール-4-イルメチレンアミノオキシ)-*p*-トルアート (以下、代謝物Bという)
- *tert*-ブチル=(*E*)- $\alpha$ -(3-メチル-5-フェノキシピラゾール-4-イルメチレンアミノオキシ)-*p*-トルアート (以下、代謝物Mという)



代謝物B



代謝物M

##### ② 分析法の概要

##### i) フェンピロキシメート、代謝物B及び代謝物M

試料からメタノール、アセトニトリル又はアセトンで抽出し、フロリジルカラム、シリカゲルカラム又はC<sub>18</sub>カラムを用いて精製、またはジクロロメタンに転溶し、GPC及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ (HPLC-UV)、アルカリ熱イオン化検出器付きガスクロマトグラフ (GC-FTD) 又は高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ (GC-NPD) で定量する。

##### ii) フェンピロキシメート及び代謝物B

試料からメタノール、アセトニトリル又はアセトンで抽出し、C<sub>18</sub>カラム、シリカゲルカラム及びフロリジルカラム又はグラファイトカーボン・NH<sub>2</sub>積層カラム及びフロリジルカラム又は多孔性ケイソウ土カラム、フロリジルカラム及びシリカゲルカラム等を用いて精製、または*n*-ヘキサンに転溶し、アルミナ・シリカゲル積層カラム、C<sub>18</sub>カラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、SAXカラム及びPSAカラム又はC<sub>18</sub>カラム及びフロリジルカラム又はC<sub>18</sub>カラム又は多孔性ケイソウ土カラム及びSAX・PSA積層カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

定量限界：フェンピロキシメート	0.005～0.1 mg/kg
代謝物 B	0.005～0.1 mg/kg
代謝物 M	0.005～0.01 mg/kg

## 【海外】

### ① 分析対象物質

- ・フェンピロキシメート

### ② 分析法の概要

#### i) フェンピロキシメート

試料にアセトニトリル及び混合塩（硫酸マグネシウム：塩化ナトリウム：クエン酸三ナトリウム 2 水和物：クエン酸二ナトリウム 1.5 水和物＝8：2：2：1）を加えて抽出した後、遠心分離して、上澄液を LC-MS/MS で定量する。

### (2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

残留濃度の合計は、フェンピロキシメート及び代謝物Bの残留濃度の和を示す。

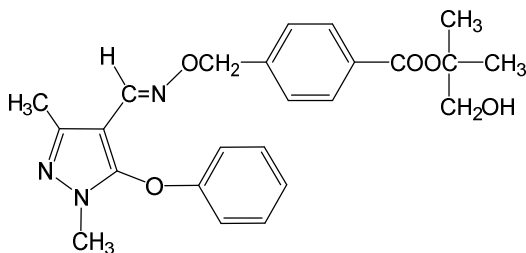
## 4. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の残留農薬濃度と動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

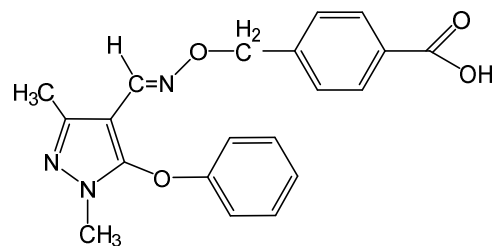
### (1) 分析の概要

#### ① 分析対象物質

- ・フェンピロキシメート
- ・1-ヒドロキシメチル-1-メチルエチル (E)- $\alpha$ -(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール-4-イルメチレンアミノオキシ)-*p*-トルアート（以下、代謝物G2という）
- ・(E)-4-[(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール-4-yl)メチレンアミノオキシ]安息香酸（以下、代謝物M-3という）



代謝物G2



代謝物M-3

## ② 分析法の概要

### i) 筋肉及び乳

試料からアセトン及びアセトン・水（2：1）混液で抽出し、酢酸エチルに転溶する。炭酸ナトリウム溶液で分配し、酢酸エチル層（フェンピロキシメート及び代謝物G2を含む）と水層（代謝物M-3を含む）に分ける。酢酸エチル層は、シリカゲルカラムを用いて精製し、フェンピロキシメート及び代謝物G2を代謝物M-3に変換した後、メチル化し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-NPDで定量する。水層は、酸性として酢酸エチルで抽出した後、メチル化し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-NPDで定量する。

### ii) 脂肪

試料からアセトンで抽出し、溶媒を除去した後*n*-ヘキサンに溶解する。炭酸ナトリウム溶液又はアンモニア水で分配し、*n*-ヘキサン層（フェンピロキシメート及び代謝物G2を含む）と水層（代謝物M-3を含む）に分ける。以後、筋肉及び乳の方法に準じて操作する。

### iii) 肝臓及び腎臓

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、GPCを用いて精製した後、メチル化し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：フェンピロキシメート	筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓	0.01 mg/kg
	乳	0.005 mg/kg
代謝物G2	筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓	0.01 mg/kg
	乳	0.005 mg/kg
代謝物M-3	筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓	0.01 mg/kg
	乳	0.005 mg/kg

## (2) 家畜残留試験（動物飼養試験）

### ① 乳牛における残留試験

乳牛（ホルスタイン種、3頭/群）に対して、1、3及び10 ppmのフェンピロキシメートを含有するゼラチンカプセルを29日間にわたり摂取させ、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるフェンピロキシメート、代謝物G2及び代謝物M-3の濃度を測定した。乳については、投与開始後1、3、7、11、14、18、21、24及び28日目に搾乳したものを測定した。結果は表1を参照。



表 1. 乳牛の組織中の残留濃度 (mg/kg)

		1 ppm 投与群	3 ppm 投与群	10 ppm 投与群
筋肉	フェンピロキシメート+代謝物 G2	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.017 (最大) 0.015 (平均)	0.049 (最大) 0.038 (平均)
	代謝物 M-3	- (最大) - (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
脂肪	フェンピロキシメート+代謝物 G2	0.018 (最大) 0.015 (平均)	0.073 (最大) 0.056 (平均)	0.159 (最大) 0.105 (平均)
	代謝物 M-3	- (最大) - (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
肝臓	フェンピロキシメート+代謝物 G2	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.011 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 M-3	0.22 (最大) 0.19 (平均)	0.42 (最大) 0.37 (平均)	0.90 (最大) 0.80 (平均)
腎臓	フェンピロキシメート+代謝物 G2	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.019 (最大) 0.014 (平均)
	代謝物 M-3	0.23 (最大) 0.20 (平均)	0.35 (最大) 0.29 (平均)	0.44 (最大) 0.40 (平均)
乳	フェンピロキシメート+代謝物 G2	- (平均)	0.005 (平均)	0.013 (平均)
	代謝物 M-3	- (平均)	- (平均)	- (平均)

- : 分析せず又は記載無し

定量限界 : 筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓0.01 mg/kg、 乳0.005 mg/kg

上記の結果に関連して、JMPRでは乳牛及び肉牛におけるMDB<sup>注1)</sup>をいずれも3.503 ppm、STMR dietary burden<sup>注2)</sup>をいずれも1.595 ppmと評価している。

注1) 最大飼料由来負荷 (Maximum Dietary Burden : MDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中残留濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (STMR dietary burden又はmean dietary burden) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に (作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

### (3) 推定残留濃度

乳牛について、MDB又はSTMR dietary burdenと家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表2を参照。推定残留濃度は、代謝物G2及び代謝物M-3をフェンピロキシメートの残留濃度に換算し、フェンピロキシメートとの和を示す。

表 2. 畜産物中の推定残留濃度：乳牛 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.020 (0.011)	0.089 (0.030)	0.455 (0.240)	0.367 (0.230)	0.0056 (0.0015)

上段：最大残留濃度

下段括弧内：平均的な残留濃度

## 5. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたフェンピロキシメートに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

### (1) ADI

無毒性量：0.97 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） 雄ラット

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 慢性毒性／発がん性併合試験

（期間） 2 年間

安全係数：100

ADI：0.0097 mg/kg 体重/day

### (2) ARfD

無毒性量：1.5 mg/kg 体重/day

（動物種） イヌ

（投与方法） 強制経口又はカプセル経口

（試験の種類） 単回経口投与、単回及び反復経口投与、亜急性並びに慢性毒性試験

安全係数：100

ARfD：0.015 mg/kg 体重

## 6. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、1995年にADIが、2007年にARfDが設定されている。国際基準はぶどう、きゅうり等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてアボカド、ナッツ類等に、カナダにおいてトマト、きゅうり等に、EUにおいてりんご、トマト等に、豪州においてりんご、なしに基準値が設定されている。

## 7. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

農産物にあつてはフェンピロキシメートのみとし、畜産物にあつてはフェンピロキ

シメート、代謝物G2及び代謝物M-3とする。

作物残留試験において、フェンピロキシメート、代謝物B及び代謝物Mの分析が行われているが、代謝物B及び代謝物Mはフェンピロキシメートと比較して十分に低い残留量であることから、農産物の規制対象として代謝物B及び代謝物Mを含めないこととした。なお、JMPRにおいては農産物における規制対象をフェンピロキシメート（親化合物のみ）としている。

また、畜産物については国際基準を採用することとするが、JMPRにおいては畜産物における規制対象をフェンピロキシメート、代謝物G2及び代謝物M-3としている。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をフェンピロキシメート及び代謝物B、畜産物中の暴露評価対象物質をフェンピロキシメート（親化合物のみ）としている。

## (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

## (3) 暴露評価

### ① 長期暴露評価

食品安全委員会においては代謝物Bを農産物中の暴露評価対象物質としていることを踏まえ、1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、農産物については代謝物Bも含めて暴露評価した。また、畜産物については代謝物G2及び代謝物M-3をフェンピロキシメートの残留濃度に換算し、フェンピロキシメートとの和で暴露評価した。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI/ADI (%) 注)
国民全体 (1歳以上)	11.4
幼少児 (1~6歳)	23.2
妊婦	10.3
高齢者 (65歳以上)	12.6

注) 各食品の平均摂取量は、平成17年~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI 試算式：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

### ② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を算出したところ、国民全体 (1歳以上) 及び幼少児 (1~6歳) のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量 (ARFD) を超えていない<sup>注)</sup>。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成 17～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成 22 年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTI を算出した。長期暴露評価と同様に、代謝物 B も含めて暴露評価した。

フェンピロキシメートの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【フェンピロキシメート/代謝物B/代謝物M】	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
だいず (乾燥子実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 150 L/10 a	1	14, 21	圃場A:<0.01 圃場B:0.017	圃場A:<0.005/<0.005/- 圃場B:0.012/<0.005/-	
あずき (乾燥子実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	1	14, 21	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01	圃場A:<0.005/<0.005/- 圃場B:<0.005/<0.005/-	
	2		2000倍散布 171,180 L/10 a		3, 7	圃場A:<0.01 圃場B:0.017	圃場A:<0.005/<0.005/- 圃場B:0.012/<0.005/-	
いんげんまめ (乾燥子実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	1	14, 21	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01	圃場A:<0.005/<0.005/- 圃場B:<0.005/<0.005/-	
べにばないんげん (子実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 150 L/10 a	1	14, 21	圃場A:<0.01	圃場A:<0.005/<0.005/-	
えんどうまめ (乾燥子実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布	2	7, 14	圃場A:0.029 (2回, 7日)	圃場A:<0.024/*<0.005/- (*2回, 7日) (#) 注3)	
			200 L/10 a			圃場B:0.026 (2回, 7日)	圃場B:<0.021/*<0.005/- (*2回, 7日) (#)	
てんさい (根)	2	5.0%フロアブル	2000倍散布 100 L/10 a	1	14, 21	圃場A:<0.01	圃場A:<0.005/<0.005/-	
トマト (果実)	2	4.0%フロアブル	2000倍散布 215,300 L/10 a	3	3, 7	圃場A:0.135 (3回, 3日)	圃場A:<0.127/*0.008/- (*3回, 3日)	
	2		1000倍散布 215,300 L/10 a		3, 7	圃場B:0.124	圃場B:<0.112/*0.012/- (*3回, 3日)	
ミニトマト (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布	3	7, 14	圃場A:0.195	圃場A:0.189/0.006/-	
			200~300, 333 L/10 a			圃場B:0.136	圃場B:0.130/0.006/-	
ピーマン (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 150,200 L/10 a	1	3, 7	圃場A:0.137	圃場A:0.130/0.007/<0.01	
	1		2000倍散布 200 L/10 a		3, 7	圃場B:0.097	圃場B:<0.092/<0.005/<0.01	
	2		2000倍散布 300,200 L/10 a		3, 7	圃場A:0.056	圃場A:0.051/<0.005/<0.01	
	1		1000倍散布 200 L/10 a		3, 7	圃場A:0.131	圃場A:0.126/<0.005/-	
	1		2000倍散布 200 L/10 a		3, 7	圃場B:0.105	圃場B:0.100/<0.005/-	
	2		4.0%フロアブル		800倍散布 200,250 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.361 (2回, 1日)
なす (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A:0.136 (1回, 1日) (#)	圃場A:<0.131/*<0.005/*<0.005 (*1回, 1日) (#)	
	2		2000倍散布 200 L/10 a		1, 3, 7	圃場B:0.089 (1回, 1日) (#)	圃場B:<0.084/*<0.005/*<0.005 (*1回, 1日) (#)	
	2	4.0%フロアブル	1600倍散布 200,300,350 L/10 a	3	1	圃場A:0.043 (1回, 3日)	圃場A:0.038/<0.005/*0.006 (*1回, 3日)	
	2		1000倍散布 200,300,350 L/10 a		1, 3, 7	圃場B:0.041	圃場B:0.036/<0.005/<0.005	
甘長とうがらし (果実)	1	4.0%フロアブル	800倍散布 200 L/10 a	1	3, 7	圃場A:0.071	圃場A:0.066/<0.005/-	
	2				3	圃場B:0.163	圃場B:0.158/<0.005/-	
	1				3	圃場A:0.117	圃場A:0.112/<0.005/-	
ししとう (果実)	2	4.0%フロアブル	1000倍散布 300,284 L/10 a	2	3, 7	圃場B:0.203	圃場B:0.198/<0.005/-	
					1	3, 7	圃場A:0.5	圃場A:0.50
					2	3, 7	圃場B:0.14	圃場B:0.14
きゅうり (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A:0.772	圃場A:0.744/*0.028/- (*2回, 3日)	
			2000倍散布 200 L/10 a		1, 3, 7	圃場B:0.721	圃場B:0.706/*0.015/- (*2回, 3日)	
	2	4.0%フロアブル	1600倍散布 200,250,300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.063 (1回, 1日) (#)	圃場A:<0.058/*<0.005/- (*1回, 1日) (#)	
			1000倍散布 200,250,300 L/10 a		1, 3, 7	圃場B:0.105 (1回, 1日) (#)	圃場B:<0.105/*0.006/- (*1回, 1日) (#)	
			1000倍散布 200,300 L/10 a		1, 3, 7	圃場A:0.026	圃場A:0.019/*0.007/- (*1回, 7日)	
			2000倍散布 200,300 L/10 a		1, 3, 7	圃場B:0.045	圃場B:0.040/<0.005/-	
2	5.0%フロアブル	1000倍散布 281,231 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.066	圃場A:0.061/<0.005/-		
		1000倍散布 270~290,300 L/10 a		1, 3, 7	圃場B:0.062	圃場B:0.057/<0.005/-		
2	5.0%フロアブル	1000倍散布 300,350 L/10 a	1	3, 7	圃場A:0.123	圃場A:0.118/<0.005/-		
		1000倍散布 270~290,300 L/10 a		3, 7	圃場B:0.096	圃場B:0.091/<0.005/-		
2	5.0%フロアブル	1000倍散布 200,100 L/10 a	1	3, 7	圃場A:0.081	圃場A:0.076/<0.005/-		
		1000倍散布 300 L/10 a		3, 7	圃場B:0.187	圃場B:0.182/<0.005/-		
2	5.0%フロアブル	1000倍散布 281,231 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:<0.01	圃場A:<0.005/<0.005/<0.005		
		1000倍散布 300 L/10 a		3, 7	圃場B:<0.01	圃場B:<0.005/*<0.005/*<0.005 (*1回, 1日) (#)		
2	5.0%フロアブル	1000倍散布 281,231 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:<0.01	圃場A:<0.005/<0.005/-		
		1000倍散布 300 L/10 a		1, 7, 14	圃場B:<0.01	圃場B:<0.005/<0.005/-		
2	5.0%フロアブル	1000倍散布 281,231 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:<0.01	圃場A:<0.005/*<0.005/- (*3回, 1日) (#)		
		1000倍散布 270~290,300 L/10 a		1, 3, 7	圃場B:<0.01	圃場B:<0.005/*<0.005/- (*3回, 1日) (#)		
メロン (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 300,350 L/10 a	1	3, 7	圃場A:0.399 (3回, 3日) (#)	圃場A:<0.393/*0.006/- (*3回, 3日) (#)	
			1000倍散布 270~290,300 L/10 a		3, 7	圃場B:0.252 (3回, 3日) (#)	圃場B:<0.243/*0.009/- (*3回, 3日) (#)	
	2	4.0%フロアブル	1000倍散布 300 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:<0.01	圃場A:<0.005/<0.005/-	

フェンピロキシメートの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【フェンピロキシメート/代謝物B/代謝物M】	
		剤型	使用量・使用方法	回数			
ほうれんそう (茎葉)	2	5.0%フロアブル	2000倍散布 150 L/10 a	1	7, 14, 21, 28	圃場A:0.15 圃場B:0.04 (1回, 28日)	圃場A:0.14/<0.01/- 圃場B:<0.01/*0.03/-(*1回, 28日)
さやえんどう (さや)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A:0.156 圃場B:0.113	圃場A:0.151/<0.005/- 圃場B:0.108/<0.005/-
さやいんげん (さや)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A:0.123 圃場B:0.278 (1回, 3日)	圃場A:0.118/<0.005/- 圃場B:*0.268/*0.010/-(*1回, 3日)
えだまめ (さや)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 150 L/10 a	1	7, 14, 21, 28	圃場A:0.212 (1回, 7日) (#) 圃場B:0.64 (1回, 7日) (#)	圃場A:*0.186/*0.026/-(*1回, 7日) (#) 圃場B:*0.626/*0.014/-(*1回, 7日) (#)
モロヘイヤ (茎葉)	2	5.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	1	7, 14	圃場A:1.537 圃場B:0.866	圃場A:1.481/0.056/- 圃場B:0.83/0.036/-
はすいも (葉柄)	2	5.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	1	7, 14	圃場A:<0.2 圃場B:<0.2	圃場A:<0.1/<0.1/- 圃場B:<0.1/<0.1/-
食用さくら(葉) (葉部)	2	5.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A:2.48 圃場B:2.25	圃場A:2.32/0.16/- 圃場B:2.18/0.07/-
温州みかん (果肉)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500, 1000 L/10 a	1	7, 14, 21, 30, 44 7, 14, 21, 30, 45	圃場A:0.02 (1回, 30日) 圃場B:0.026 (1回, 14日) (#)	圃場A:*0.015/<0.005/<0.005 (*1回, 30日) 圃場B:*0.021/*0.005/*0.005 (*1回, 14日) (#)
	2	5.0%フロアブル + 10.0%フロアブル	1000倍 散布+ 2000倍 散布 667 L/10 a	1+1	1, 3, 7, 21	圃場A:<0.02 (2回, 1日) (#) 圃場B:<0.02 (2回, 1日) (#)	圃場A:*<0.01/*<0.01/- (*2回, 1日) (#) 圃場B:*<0.01/*<0.01/- (*2回, 1日) (#)
温州みかん (果皮)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500, 1000 L/10 a	1	7, 14, 21, 30, 44 7, 14, 21, 30, 45	圃場A:0.266 (1回, 30日) 圃場B:1.057 (1回, 14日)	圃場A:*0.238/*0.028/*0.006 (*1回, 30日、**1回, 21日) 圃場B:*0.975/*0.082/*0.014 (*1回, 14日、**1回, 21日、***1回, 45日) (#)
	2	5.0%フロアブル + 10.0%フロアブル	1000倍散布 + 2000倍 散布 667 L/10 a	1+1	1, 3, 7, 21	圃場A:2.23 (2回, 3日) 圃場B:1.69 (2回, 1日)	圃場A:*2.01/*0.22/- (*2回, 3日、**2回, 21日) (#) 圃場B:*1.66/*0.03/- (*2回, 1日、**2回, 7日) (#)
なつみかん (果肉)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	1	14, 21, 30, 45	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01	圃場A:0.005/<0.005/<0.005 圃場B:<0.005/<0.005/<0.005
なつみかん (果皮)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	1	14, 21, 30, 45	圃場A:0.44(1回, 21日) 圃場B:0.29 (1回, 21日)	圃場A:*0.40/*0.04/*0.04 (*1回, 21日) 圃場B:*0.25/<0.04/<0.04 (*1回, 21日)
なつみかん (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	1	14, 21, 30, 45	圃場A:0.122(1回, 21日) 圃場B:0.073 (1回, 21日)	圃場A:*0.116/*0.006/- (*1回, 21日、**1回, 30日) 圃場B:*0.068/*0.005/- (*1回, 21日)
	2	5.0%フロアブル + 10.0%フロアブル	1000倍 + 2000倍散布 637, 500 L/10 a	1+1	1, 3, 7, 21	圃場A:0.42 (2回, 21日) (#) 圃場B:0.49 (2回, 1日) (#)	圃場A:*0.39/*0.03/- (*2回, 21日) (#) 圃場B:*0.48/*0.01/- (*2回, 1日) (#)
ゆず (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	1	14, 28, 98 14, 28, 56	圃場A:0.07 圃場B:0.05	圃場A:0.06/0.01/- 圃場B:0.04/<0.01/-
	1	5.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A:0.171	圃場A:0.146/<0.025/-
すだち (果実)	1	5.0%フロアブル + 10.0%フロアブル	1000倍散布+2000倍散布 500 L/10 a	1+1	1, 3, 7, 21	圃場A:0.31 (2回, 3日)	圃場A:*0.27/*0.04/- (*2回, 3日、**2回, 7日) (#)
	1	5.0%フロアブル + 10.0%フロアブル	1000倍散布+2000倍散布 617 L/10 a	1+1	1, 3, 7, 21	圃場A:0.17 (2回, 1日) (#)	圃場A:*0.16/*0.01/- (*2回, 1日) (#)
りんご (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 280, 500 L/10 a	1	14, 29, 45, 60 14, 30, 45, 60	圃場A:0.088 (1回, 29日) 圃場B:0.035 (1回, 45日)	圃場A:*0.081/*0.007/*<0.005(*1回, 29日) 圃場B:*0.030/<0.005/<0.005(*1回, 45日)
なし (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	1	7, 14, 21, 30, 60 7, 13, 21, 30, 60	圃場A:0.055 (1回, 21日) 圃場B:0.138 (1回, 30日)	圃場A:*0.046/0.009/<0.005(*1回, 21日) 圃場B:*0.119/*0.019/*0.005(*1回, 30日、**1回, 13日)
びわ (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 400 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A:<0.04 圃場B:<0.04	圃場A:<0.02/<0.02/- 圃場B:<0.02/<0.02/-
もも (果肉)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500, 300 L/10 a	1	7, 14, 21 7, 14, 19	圃場A:0.013 圃場B:0.011	圃場A:0.008/<0.005/<0.005 圃場B:0.006/0.005/<0.005
	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500, 300 L/10 a	1	7, 14, 21 7, 14, 19	圃場A:1.328 圃場B:1.317 (1回, 14日)	圃場A:1.25/0.078/0.006 圃場B:1.26/*0.057/*0.008(*1回, 14日)
ネクタリン (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 400, 350 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.13 (2回, 14日) 圃場B:0.43	圃場A:*0.12/<0.01/-(*2回, 14日) 圃場B:0.42/<0.01/-
うめ (果実)	2	4.0%フロアブル	1000倍散布 400 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.489 圃場B:0.783	圃場A:0.479/0.010/- 圃場B:0.749/0.034/-
おうとう (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	1	14, 21, 30, 59 21, 30, 60	圃場A:0.096 (1回, 21日) 圃場B:0.089 (1回, 21日)	圃場A:*0.086/*0.010/*<0.005(*1回, 21日、**1回, 14日) 圃場B:*0.079/*0.010/*<0.005(*1回, 21日、**1回, 30日)
	2		1000倍散布 400, 612 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.09 圃場B:0.25	圃場A:0.08/<0.01/- 圃場B:0.24/0.01/-
いちご (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 150, 200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A:0.182 圃場B:0.163	圃場A:0.177/<0.005/<0.005 圃場B:0.158/<0.005/<0.005
	2		2000倍散布 150, 200 L/10 a		7, 14, 21	圃場A:0.097 (1回, 3日) 圃場B:0.085	圃場A:*0.092/<0.005/<0.005(*1回, 3日) 圃場B:0.080/<0.005/<0.005
ぶどう (小粒) (果実)	1	5.0%フロアブル	1000倍散布 400 L/10 a	1	14, 21, 30, 60	圃場A:0.359	圃場A:0.349/0.010/<0.005
	1		1000倍散布 333 L/10 a	1, 2	13, 20, 29	圃場A:0.512 (1回, 29日)	圃場A:*0.502/*0.010/*<0.005(*1回, 29日)
	2		1000倍散布 333 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A:0.08 (1回, 28日) 圃場B:0.17 (1回, 28日)	圃場A:*0.07/*0.01/-(*1回, 28日) 圃場B:*0.16/*0.01/-(*1回, 28日)

## フェンピロキシメートの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【フェンピロキシメート/代謝物B/代謝物M】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
かき (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 400,600 L/10 a	1	<u>1</u> , 14, 21, 28	圃場A:0.078 (1回, 14日) 圃場B:0.114	圃場A:0.070/*0.008/<0.005(*1回, 14日) 圃場B:0.102/0.012/<0.005
キウイフルーツ (果肉)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 400,300 L/10 a	1	<u>1</u> , 3, 6 <u>1</u> , 3, 7	圃場A:0.02 (1回, 3日) 圃場B:0.02	圃場A:0.01/<0.01/-(*1回, 3日) 圃場B:0.01/<0.01/-
キウイフルーツ (果皮)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 400,300 L/10 a	1	<u>1</u> , 3, 6 <u>1</u> , 3, 7	圃場A:3.01 (1回, 6日) 圃場B:1.90 (1回, 7日)	圃場A:2.97/*0.04/-(*1回, 6日) 圃場B:1.84/*0.06/-(*1回, 7日)
チェリモヤ (果実)	2	5.0%フロアブル	2000倍散布 400 L/10 a	1	<u>30</u> , 45	圃場A:0.03 圃場B:0.05	圃場A:0.02/<0.01/- 圃場B:0.04/<0.01/-
いちじく (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 150,600 L/10 a	1	<u>1</u> , <u>3</u> , 7	圃場A:0.178 (1回, 7日) 圃場B:0.145 (1回, 7日)	圃場A:0.170/*0.008/-(*1回, 7日) 圃場B:0.136/*0.009/-(*1回, 7日)
	2		2000倍散布 150,600 L/10 a			圃場A:0.13 (1回, 7日) 圃場B:0.097(1回, 7日)	圃場A:0.124/*0.006/-(*1回, 7日) 圃場B:0.090/*0.007/-(*1回, 7日)
アセロラ (果実)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 500,400 L/10 a	1	<u>14</u> , 21, 28	圃場A:0.09 圃場B:0.16	圃場A:0.05/<0.04/- 圃場B:0.12/<0.04/-
茶 (浸出液)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 400 L/10 a	1	<u>7</u> , 14, 21, 30	圃場A:0.103 圃場B:0.082	圃場A:0.091/0.012/<0.01 圃場B:0.070/0.012/<0.01
	2	5.0%フロアブル + 10.0%フロアブル	1000倍散布, 1000 L/10 a + 2000倍散布, 400 L/10 a	1+1	7, 14, 21	圃場A:0.09 (2回, 7日) (#) 圃場B:0.17 (2回, 7日) (#)	圃場A:0.08/*0.01/-(*2回, 7日) (#) 圃場B:0.15/*0.02/-(*2回, 7日) (#)
茶 (荒茶)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 400 L/10 a	1	<u>7</u> , 14, 21, 30	圃場A:15.4 圃場B:12.1	圃場A:14.4/0.954/0.050 圃場B:11.2/0.924/0.038
	2		1000倍散布 1000 L/10 a	1	<u>7</u> , 14, 21	圃場A:21.7 圃場B:18.6	圃場A:21.0/0.68/- 圃場B:17.8/0.76/-
	2	5.0%フロアブル + 10.0%フロアブル	1000倍散布, 1000 L/10 a + 2000倍散布, 400 L/10 a	1+1	7, 14, 21	圃場A:12.9 (2回, 7日) (#) 圃場B:33.1 (2回, 7日) (#)	圃場A:*11.6/*1.34/-(*2回, 7日) (#) 圃場B:*31.2/*1.86/-(*2回, 7日) (#)
ホップ (乾粒果)	2	5.0%フロアブル	1000倍散布 400,700 L/10 a	1	<u>14</u> , 28, 42, 56	圃場A:4.64 圃場B:8.42 (1回, 28日)	圃場A:4.34/0.30/- 圃場B:*7.68/*0.74/-(*1回, 28日)
しそ (葉部)	2	5.0%フロアブル	2000倍散布 250 L/10 a	1	<u>14</u> , <u>21</u> , 28	圃場A:0.9 圃場B:0.3	圃場A:0.8/0.1/<0.01 圃場B:0.2/0.1/<0.01
みょうが (花穂)	2	5.0%フロアブル	2000倍散布 350 L/10 a	1	<u>1</u> , 3, 7	圃場A:<0.04 圃場B:<0.04	圃場A:<0.02/<0.02/- 圃場B:<0.02/<0.02/-

注1) フェンピロキシメート及び代謝物Bの合計濃度を示した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。

注3) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注4) -: 分析せず。

(別紙1-2)

## フェンピロキシメートの海外作物残留試験一覧表 (ブラジル)

農作物	試験 圃場数	試験条件			経過日数	残留濃度 (mg/kg) 注)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
きゅうり (果実)	4	5%フロアブル	1000倍散布  100 L/10 a	<u>2</u>	<u>7</u>	圃場A : <0.005
						圃場B : <0.005
					0, 3, <u>7</u> , 14, 21	圃場C : <0.005
						圃場D : 0.007

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

※インポートライセンス申請に関連して、ブラジルのきゅうり (Pepino EsmeraldaおよびPepino Safira : 日本のきゅうりと異なり、かぼちゃときゅうりの中間のような形状) の作物残留試験成績の結果が提出されたが、今回は国際基準値を参照することとした。



食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際基準 ppm	外国基準値 ppm	
とうもろこし	0.01			0.01		
大豆	0.05	0.05	○			<0.005,0.012
小豆類	0.05	0.05	○			<0.005,0.012(あずき)
えんどう	0.1	0.1	○			0.021,0.024(#)
ばれいしょ	0.05			0.05		
てんさい	0.02	0.02	○			<0.005,<0.005
その他のきく科野菜		0.5				
パセリ		0.5				
みつば		2				
その他のせり科野菜		0.5				
トマト	0.5	0.7	○			0.130,0.189(ミニトマト)
ピーマン	1	1	○	0.2		0.304,0.307
なす	0.5	0.5	○	0.3		0.112,0.198
その他のなす科野菜	2	2	○	0.3		0.706,0.744(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5	0.5	○	0.3		0.076,0.182
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.06	0.05	IT	0.06	0.1	【ブラジルきゅうり(0.005～0.007(n=4))】 <sup>注)</sup>
すいか	0.02	1	○			<0.005,<0.005
メロン類果実	0.02	1	○			<0.005,<0.005
その他のうり科野菜	0.5	0.5	○			(きゅうり参照 にがりの緊急登録)
ほうれんそう	0.5	0.5	○			<0.01,0.14(\$)
たけのこ		5				
オクラ		0.2				
未成熟えんどう	0.5	2	○	0.5		0.108, 0.151
未成熟いんげん	0.7	2	○	0.5		0.118,0.268(\$)
えだまめ	2	2	○	0.5		0.186,0.626(\$)
しいたけ		0.2				
その他のきのこ類		0.2				
その他の野菜	5	5	○			2.18,2.32(さくら葉)、0.83,1.48(モロヘイヤ)、<0.1,<0.1(はすいも(葉柄))
みかん	0.1	0.5	○			0.015,0.021
なつみかんの果実全体	0.7	1	○	0.6		0.39,0.48(なつみかん)、0.27(すだち)、0.16(かぼす)
レモン	0.7	1	○	0.6		(なつみかん,すだち,かぼす参照)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.7	1	○	0.6		(なつみかん,すだち,かぼす参照)
グレープフルーツ	0.7	1	○	0.6		(なつみかん,すだち,かぼす参照)
ライム	0.7	1	○	0.6		(なつみかん,すだち,かぼす参照)
その他のかんきつ類果実	0.7	1	○	0.6		(なつみかん,すだち,かぼす参照)
りんご	0.3	0.5	○	0.2		0.030,0.081
日本なし	0.5	1	○	0.2		0.046,0.119(\$)
西洋なし	0.5	1	○	0.2		(日本なし参照)
マルメロ		0.3				
びわ	0.1	0.1	○			<0.02,<0.02
もも	0.03	0.1	○			0.006,0.008
ネクタリン	1	1	○	0.4		0.12,0.42(\$)
すもも(プルーンを含む。)	1		申	0.4		(ネクタリン参照)
うめ	2	2	○	0.4		0.479,0.749
おうとう(チェリーを含む。)	2	0.7	○	2		
いちご	0.5	0.5	○	0.3		0.158,0.177
ラズベリー	0.2			0.2		
その他のベリー類果実	0.5	1				(いちご参照)
ぶどう	1	2	○	0.1		0.07～0.502(\$)(n=4)

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
かき	0.5	0.5	○			0.070,0.102(\$)
キウイ	0.05	0.05	○			0.01,0.01
アボカド	0.2			0.2		
マンゴー	1	1			0.5 台湾	
その他の果実	0.5	0.5	○			0.136,0.170(いちじく)
綿実	0.1	0.1				【<0.02~0.048(n=12)(米国)】
ぎんなん	0.05	0.05		0.05		
くり	0.05	0.05		0.05		
ペカン	0.05	0.05		0.05		
アーモンド	0.05	0.05		0.05		
くるみ	0.05	0.05		0.05		
その他のナッツ類	0.05	0.05		0.05		
茶	40	40	○	8		11.6,31.2(\$)(荒茶)
コーヒー豆	0.07			0.07		
ホップ	15	15	○	15		4.34,7.68(\$)
その他のスパイス	5	5	○			1.66(#),2.01(#)(みかんの果皮)
その他のハーブ	2	2	○			0.2,0.8(\$)(しその葉)
牛の筋肉	0.1	0.01				(牛の脂肪参照)
豚の筋肉	0.1	0.01				(豚の脂肪参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.1	0.01				(その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪参照)
牛の脂肪	0.1	0.02		0.1		
豚の脂肪	0.1	0.02		0.1		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.1	0.02		0.1		
牛の肝臓	0.5	0.01		0.5		
豚の肝臓	0.5	0.01		0.5		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.5	0.01		0.5		
牛の腎臓	0.5	0.01		0.5		
豚の腎臓	0.5	0.01		0.5		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.5	0.01		0.5		
牛の食用部分	0.5	0.01		0.5		
豚の食用部分	0.5	0.01		0.5		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.5	0.01		0.5		
乳	0.01	0.005		0.01		
とうがらし(乾燥させたもの)		5		1		※
干しぶどう		5		0.2		※

申請(国内における登録、承認等の申請、インポート・トランス申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

「登録有無」の欄に「IT」の記載があるものは、インポート・トランス申請に基づく基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

※)加工食品である「とうがらし(乾燥させたもの)」及び「干しぶどう」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。基準値が設定されていない加工食品については、原材料の基準値に基づき加工係数を考慮して適否を判断することとしている。なお、本物質について、JMPRはとうがらし(乾燥させたもの)の加工係数を7、干しぶどうの加工係数を2.7と算出している。

注)インポート・トランス申請に関連してブラジルのきゅうりの作物残留試験成績の結果が提出されたが、国際基準値を参照することとした。

フェンピロキシメートの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
とうもろこし	0.01	0.01	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
大豆	0.05	0.014	2.0	0.5	1.0	0.3	1.6	0.4	2.3	0.6
小豆類	0.05	0.014	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
えんどう	0.1	0.0275	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.05	0	1.9	0.0	1.7	0.0	2.1	0.0	1.8	0.0
てんさい	0.02	0.01	0.7	0.3	0.6	0.3	0.8	0.4	0.7	0.3
トマト	0.5	0.166	16.1	5.3	9.5	3.2	16.0	5.3	18.3	6.1
ピーマン	1	0.349	4.8	1.7	2.2	0.8	7.6	2.7	4.9	1.7
なす	0.5	0.16	6.0	1.9	1.1	0.3	5.0	1.6	8.6	2.7
その他のなす科野菜	2	0.747	2.2	0.8	0.2	0.1	2.4	0.9	2.4	0.9
きゅうり (ガーキンを含む)	0.5	0.134	10.4	2.8	4.8	1.3	7.1	1.9	12.8	3.4
かぼちゃ (スカッシュを含む)	0.06	0.025	0.6	0.2	0.2	0.1	0.5	0.2	0.8	0.3
すいか	0.02	0.01	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1
メロン類果実	0.02	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のうり科野菜	0.5	0.134	1.4	0.4	0.6	0.2	0.3	0.1	1.7	0.5
ほうれんそう	0.5	0.095	6.4	1.2	3.0	0.6	7.1	1.3	8.7	1.7
未成熟えんどう	0.5	0.135	0.8	0.2	0.3	0.1	0.1	0.0	1.2	0.3
未成熟いんげん	0.7	0.201	1.7	0.5	0.8	0.2	0.1	0.0	2.2	0.6
えだまめ	2	0.426	3.4	0.7	2.0	0.4	1.2	0.3	5.4	1.2
その他の野菜	5	1.783	67.0	23.9	31.5	11.2	50.5	18.0	70.5	25.1
なつかん	0.1	0.023	1.8	0.4	1.6	0.4	0.1	0.0	2.6	0.6
なつみかんの果実全体	0.7	0.348	(1回, 21日)	0.5	0.5	0.2	3.4	1.7	1.5	0.7
レモン	0.7	0.348	0.4	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.4	0.2
オレンジ (ネーブルオレンジを含む)	0.7	0.348	4.9	2.4	10.2	5.1	8.8	4.4	2.9	1.5
グレープフルーツ	0.7	0.348	2.9	1.5	1.6	0.8	6.2	3.1	2.5	1.2
ライム	0.7	0.348	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のかんきつ類果実	0.7	0.348	4.1	2.1	1.9	0.9	1.8	0.9	6.7	3.3
りんご	0.3	0.0615	7.3	1.5	9.3	1.9	5.6	1.2	9.7	2.0
日本なし	0.5	0.097	3.2	0.6	1.7	0.3	4.6	0.9	3.9	0.8
西洋なし	0.5	0.097	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0
びわ	0.1	0.04	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0
もも	0.03	0.012	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1
ネクタリン	1	0.28	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
すもも (プルーンを含む)	1	0.28	1.1	0.3	0.7	0.2	0.6	0.2	1.1	0.3
うめ	2	0.636	2.8	0.9	0.6	0.2	1.2	0.4	3.6	1.1
おうとう (チェリーを含む)	2	0.585	0.8	0.2	1.4	0.4	0.2	0.1	0.6	0.2
いちご	0.5	0.173	2.7	0.9	3.9	1.3	2.6	0.9	3.0	1.0
ラズベリー	0.2	0.07	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	0.5	0.173	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ぶどう	1	0.28	8.7	2.4	8.2	2.3	20.2	5.7	9.0	2.5
かき	0.5	0.096	5.0	1.0	0.9	0.2	2.0	0.4	9.1	1.7
キウイ	0.05	0.02	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
アボカド	0.2	0.05	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
マンゴー	1	1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.3	0.3
その他の果実	0.5	0.162	0.6	0.2	0.2	0.1	0.5	0.1	0.9	0.3
綿実	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.05	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.05	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.05	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.05	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.05	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.05	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	40	0.13	264.0	0.9	40.0	0.1	148.0	0.5	376.0	1.2
コーヒー豆	0.07	0.025	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
ホップ	15	6.53	1.5	0.7	1.5	0.7	1.5	0.7	1.5	0.7
その他のスパイス	5	1.96	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2	1.0	0.4
その他のハーブ	2	0.6	1.8	0.5	0.6	0.2	0.2	0.1	2.8	0.8
陸棲哺乳類の肉類	0.1	筋肉 0.03 脂肪 0.03	5.8	1.7	4.3	1.3	6.4	1.9	4.1	1.2
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.5	0.24	0.7	0.3	0.4	0.2	2.4	1.2	0.5	0.2
陸棲哺乳類の乳類	0.01	0.0015	2.6	0.4	3.3	0.5	3.6	0.5	2.2	0.3
計			451.0	61.1	153.9	37.1	324.2	58.6	589.6	68.8
ADI比 (%)			84.4	11.4	96.1	23.2	57.1	10.3	108.3	12.6

TMDI:理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法:基準値案×各食品の平均摂取量

EDI:推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法:作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

●:個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値(案)の数値を用いた。

とうもろこし、ばれいしょ、かぼちゃ、おうとう、ラズベリー、アボカド、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド、くるみ、その他のナッツ類、コーヒー豆、陸棲哺乳類の肉類、陸棲哺乳類の食用部分(肉類除く)および陸棲哺乳類の乳類については、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI計算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

フェンピロキシメートの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.1	1
大豆	大豆	0.05	○ 0.014	0.0	0
小豆類	いんげん	0.05	○ 0.014	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0	0.0	0
トマト	トマト	0.5	0.5	5.5	40
ピーマン	ピーマン	1	1	2.6	20
なす	なす	0.5	0.5	3.2	20
その他のなす科野菜	とうがらし(生)	2	2	3.2	20
	ししとう	2	2	2.0	10
きゅうり(ガーキンを含む。)	きゅうり	0.5	0.5	3.2	20
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.06	○ 0.025	0.2	1
	ズッキーニ	0.06	○ 0.025	0.2	1
すいか	すいか	0.02	0.02	0.7	5
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.3	2
その他のうり科野菜	とうがん	0.5	0.5	8.5	60
	にがうり	0.5	0.5	4.0	30
ほうれんそう	ほうれんそう	0.5	0.5	2.4	20
未成熟えんどう	未成熟えんどう(さや)	0.5	0.5	0.8	5
	未成熟えんどう(豆)	0.5	0.5	0.8	5
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.7	0.7	1.4	9
えだまめ	えだまめ	2	2	5.1	30
その他の野菜	ずいき	5	○ 0.2	2.0	10
	もやし	5	○ 2.48	5.7	40
	れんこん	5	○ 2.48	15.4	100
	そら豆(生)	5	○ 2.48	7.3	50
みかん	みかん	0.1	0.1	0.9	6
なつみかんの果実全体	なつみかん	0.7	○ 0.49	6.1	40
レモン	レモン	0.7	○ 0.49	1.0	7
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	0.7	○ 0.49	4.6	30
	オレンジ果汁	0.7	○ 0.365	3.6	20
グレープフルーツ	グレープフルーツ	0.7	○ 0.49	8.4	60
その他のかんきつ類果実	きんかん	0.7	○ 0.49	1.2	8
	ほんかん	0.7	○ 0.49	5.2	30
	ゆず	0.7	○ 0.49	0.8	5
	すだち	0.7	○ 0.49	0.8	5
りんご	りんご	0.3	0.3	4.3	30
	りんご果汁	0.3	○ 0.062	0.7	5
日本なし	日本なし	0.5	0.5	7.6	50
西洋なし	西洋なし	0.5	0.5	7.0	50
びわ	びわ	0.1	0.1	0.7	5
もも	もも	0.03	0.03	0.4	3
すもも(ブルーンを含む。)	ブルーン	1	1	5.9	40
うめ	うめ	2	2	2.7	20
おうとう(チェリーを含む。)	おうとう	2	○ 0.585	1.5	10
いちご	いちご	0.5	0.5	1.9	10
ぶどう	ぶどう	1	○ 0.512	6.9	50
かき	かき	0.5	0.5	7.1	50
キウイ	キウイ	0.05	0.05	0.3	2
アボカド	アボカド	0.2	○ 0.05	0.4	3
マンゴー	マンゴー	1	1	13.5	90
その他の果実	いちじく	0.5	0.5	3.8	30
ぎんなん	ぎんなん	0.05	○ 0	0.0	0
くり	くり	0.05	○ 0	0.0	0
アーモンド	アーモンド	0.05	○ 0	0.0	0
くるみ	くるみ	0.05	○ 0	0.0	0
茶	緑茶類	40	○ 0.13	0.1	1
ホップ	ホップ	15	○ 6.53	0.1	1

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁(値が100を超える場合は有効数字2桁)とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験におけるフェンピロキシメート及び代謝物Bの最高残留濃度(HR)又は中央値(STMR)を用いて短期摂取量を推計した。

## フェンピロキシメートの推定摂取量（短期）：幼児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.2	1
大豆	大豆	0.05	○ 0.014	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0	0.0	0
トマト	トマト	0.5	0.5	13.6	90
ピーマン	ピーマン	1	1	6.5	40
なす	なす	0.5	0.5	7.8	50
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.5	0.5	7.3	50
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.06	○ 0.025	0.4	3
すいか	すいか	0.02	0.02	1.7	10
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.6	4
ほうれんそう	ほうれんそう	0.5	0.5	5.6	40
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	0.5	0.5	0.6	4
	未成熟えんどう (豆)	0.5	0.5	0.9	6
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.7	0.7	2.8	20
えだまめ	えだまめ	2	2	5.6	40
みかん	みかん	0.1	0.1	2.7	20
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	0.7	○ 0.49	13.2	90
	オレンジ果汁	0.7	○ 0.365	6.5	40
りんご	りんご	0.3	0.3	9.6	60
	りんご果汁	0.3	○ 0.062	2.1	10
日本なし	日本なし	0.5	0.5	14.4	100
もも	もも	0.03	0.03	1.3	9
うめ	うめ	2	2	6.8	50
いちご	いちご	0.5	0.5	5.4	40
ぶどう	ぶどう	1	○ 0.512	15.7	100
かき	かき	0.5	0.5	10.5	70
茶	緑茶類	40	○ 0.13	0.1	1

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験におけるフェンピロキシメート及び代謝物Bの最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

(参考)

これまでの経緯

平成 3年	4月	1日	初回農薬登録
平成15年	7月	1日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成15年	9月	18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成17年	11月	29日	残留農薬基準告示
平成22年	11月	24日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：トマト、とうがらし類、うめ及びおうとう）
平成23年	1月	20日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成25年	1月	7日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	4月	23日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：あずき、茶等）
平成25年	6月	11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成25年	8月	5日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	11月	22日	薬事・食品衛生審議会への諮問
平成26年	1月	17日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成26年	10月	3日	残留農薬基準告示
平成29年	6月	16日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：すもも及びネクタリン）
平成29年	7月	21日	厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成29年	9月	15日	インポートトレランス申請（かぼちゃ）
平成30年	1月	23日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成30年	11月	12日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成30年	11月	13日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- 穂山 浩 国立医薬品食品衛生研究所食品部長  
石井 里枝 埼玉県衛生研究所副所長（兼）食品微生物検査室長  
井之上 浩一 立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室准教授  
折戸 謙介 麻布大学獣医学部生理学教授  
魏 民 大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学准教授  
佐々木 一昭 東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授  
佐藤 清 元 一般財団法人残留農薬研究所理事  
佐野 元彦 東京海洋大学海洋生物資源学部門教授  
永山 敏廣 明治薬科大学薬学部特任教授  
根本 了 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長  
二村 睦子 日本生活協同組合連合会組織推進本部長  
宮井 俊一 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問  
由田 克士 大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授  
吉成 浩一 静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授

(○：部会長)

答申(案)

フェンピロキシメート

食品名	残留基準値	
	ppm	
とうもろこし	0.01	今回基準値を設定するフェンピロキシメートとは、
大豆	0.05	農産物にあつてはフェンピロキシメートのみとし、
小豆類 <sup>注1)</sup>	0.05	畜産物にあつてはフェンピロキシメート、代謝物
えんどう	0.1	G2【1-ヒドロキシメチル-1-メチルエチル(E)- $\alpha$ -
ばれいしょ	0.05	(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール-4-イルメ
てんさい	0.02	チレンアミノオキシ)-p-トルアート】及び代謝物M-
トマト	0.5	3【(E)-4-[(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール
ピーマン	1	-4-yl)メチレンアミノオキシオキシメチル]安息香
なす	0.5	酸】の和をいう。
その他のなす科野菜 <sup>注2)</sup>	2	注1)いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5	豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.06	びレンズを含む。
すいか	0.02	
メロン類果実	0.02	注2)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜の
その他のうり科野菜 <sup>注3)</sup>	0.5	うち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
ほうれんそう	0.5	
未成熟えんどう	0.5	注3)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のう
未成熟いんげん	0.7	ち、きゅうり、かぼちゃ、しろり、すいか、メロン類
えだまめ	2	果実及びまくわうり以外のものをいう。
その他の野菜 <sup>注4)</sup>	5	
みかん	0.1	注4)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、
なつみかんの果実全体	0.7	てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野
レモン	0.7	菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.7	野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、
グレープフルーツ	0.7	未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、き
ライム	0.7	のこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
その他のかんきつ類果実 <sup>注5)</sup>	0.7	
りんご	0.3	注5)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ
日本なし	0.5	類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかん
西洋なし	0.5	の外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレ
びわ	0.1	ンジ、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外
もも	0.03	のものをいう。
ネクタリン	1	注6)「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実
すもも(プルーンを含む。)	1	のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブ
うめ	2	ルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外
おうとう(チェリーを含む。)	2	のものをいう。
いちご	0.5	
ラズベリー	0.2	注7)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ
その他のベリー類果実 <sup>注6)</sup>	0.5	類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、
ぶどう	1	びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おう
かき	0.5	とう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キ
キウイ	0.05	ウィー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グア
パパイヤ		バ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及
アボカド	0.2	びスパイス以外のものをいう。
マンゴー	1	
その他の果実 <sup>注7)</sup>	0.5	注8)「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎ
綿実	0.1	んなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外
ぎんなん	0.05	のものをいう。
くり	0.05	
ペカン	0.05	注9)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西
アーモンド	0.05	洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パ
くるみ	0.05	プリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、
その他のナッツ類 <sup>注8)</sup>	0.05	ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
茶	40	
コーヒー豆	0.07	注10)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレ
ホップ	15	ソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及
その他のスパイス <sup>注9)</sup>	5	びセロリの葉以外のものをいう。
その他のハーブ <sup>注10)</sup>	2	



食品名	残留基準値 ppm
牛の筋肉	0.1
豚の筋肉	0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物 <sup>注11)</sup> の筋肉	0.1
牛の脂肪	0.1
豚の脂肪	0.1
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.1
牛の肝臓	0.5
豚の肝臓	0.5
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.5
牛の腎臓	0.5
豚の腎臓	0.5
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.5
牛の食用部分 <sup>注12)</sup>	0.5
豚の食用部分	0.5
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.5
乳	0.01

注11)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注12)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。